

やな がわ 梁川振興会

■代表者：会長 菊池 精一
■人 口：1,619 人（男 820 人／女 799 人）
■世帯数：535 世帯
■拠 点：梁川地区センター
（江刺区梁川字日ノ神90番地 ☎02320）
（平成 26 年 5 月 31 日現在）

現在、総務局、社会福祉



橋の上から EM 発酵液を川に投入

地域の魅力再発見と体力づくりを目的としたこのウォーキング。23 年までは年 1 回の開催でした。しかし、金石道



桜を見ながらウォーキング

結 -ゆい-

26

～ 30 の地区振興会による協働のまちづくり実践事例 ～

特色のある地区振興会の事業を紹介するこのコーナー。シリーズ 26 回目は、江刺区の梁川振興会を紹介します。

梁川地区は、市の東北部に位置し、花巻市東和町、北上市口内町と隣接する緑豊かな純農村地帯です。平成 24 年 11 月の釜石道「東和宮守」の開通、そして「江刺田瀬 IC」の設置により、本市の北の玄関口としての重要性も高まっています。

同地区は、仙台藩の北辺に位置していたことから、鹿踊り、神楽、大神楽、田植え踊りなど、仙台藩内と南部藩内の双方から伝来した伝統芸能が伝えられています。さらに、江戸時代までこの地を治めた小梁川氏にまつわる流鏑馬、大名行列などが神事芸能として伝承され「郷土芸能の宝庫」となっています。

梁川振興会は、昭和 25 年 1 月に結成した梁川村振興会が前身。46 年 7 月に梁川振興会と名称を変更した後、公民館が地区センターになった翌年の平成 17 年 4 月、従来の組織を一本化し、現在の形になりました。

■ EM（有用微生物群）の活用

同振興会生活環境部では、EM を活用して「水」の浄化と「土」づくりに取り組んでいます。

10 年ほど前に EM のインストラクターが同地区に移住したことをきっかけに、今では EM を培養して各家庭に配布



昨年開催したボカシ肥料づくり講習会

しているほか、梁川小学校のプール清掃や河川の浄化に活用。EM を投入した河川流域からは、生息する蜚が増えたとの報告もあります。

また、昨年は EM を利用したボカシ肥料づくりの講習会も開催。出来上がった肥料がまかれた地区センターのプラントーには、色とりどりの花が咲き誇りました。「梁川を訪れた人たちに、自然や風土の素晴らしさを知って欲しい」そんな思いが、これらの活動の原動力だといいます。

■ 梁川地区体力づくりウォーキング



桜を見ながらウォーキング

「江刺田瀬 IC」の開設を記念して 24 年に実施した「横断道を歩こう会」以降、年 2 回に増やして開催しています。

同年に「梁川のエドヒガン」（種蒔桜）が市天然記念物に指定されたことを記念して、春はお花見をしながら歩きます。ことしの春は、地区住民 45 人が参加。桜の満開時期と重なり、往復約 1 時間のコースを、談笑しながら楽しく散策しました。

さらにことしは「回数を増やして欲しい」「ほかの地区も歩きたい」という声に応え、他振興会との共催で、市ウォーキングマップのコースでの開催を計画。地区住民の健康づくりの意識は高まりを見せています。

あなたのアイデアで 国体を盛り上げよう

市実行委員会では P R ポスターのデザインを、県実行委員会ではおもてなし料理のレシピを募集中です。

■問い合わせ＝本庁国体推進室（江刺総合支所・内線 353、354）

PRポスター

デザイン募集



いわて国体・大会を P R するポスターのデザインを募集します。入賞作品はポスターのほか、ホームページや P R グッズのデザインとして採用します。あなたの自由な発想で両大会を P R してください！たくさんのご応募、お待ちしております。

募集期限 9 月 1 日（必着）
応募資格 市内に在住または通勤・通学している人
作品の条件

- ① 4 つ切り画用紙（382 mm × 542 mm）を縦に使用
- ② 彩色材料・技法の制限なし
- ③ コンピュータグラフィックによる作品は、A 4 サイズで出力した作品を提出
- ④ 図案には大会名称やスローガンなどの文字は入れない
- ⑤ 応募者本人が創作した未発表の作品に限る

▶ 両大会 P R 部門

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催を、市内外の人に P R する内容のもの

▶ 競技 P R 部門

市内で行われる 7 競技（ボクシング、バスケットボール、ウエイトリフティング、卓球、馬術、弓道、カヌー）の中から 1 つを選び、その競技の躍動感や魅力を P R する内容のもの

⑥ マスコットキャラクター「わんこきょうだい」の使用可（色・ポーズの変更も可）

⑦ 応募作品の著作権は市実行委員会に帰属

応募方法

本庁国体推進室、水沢総合支所事務局、各総合支所総務企画課、各地区センターにある所定の応募用紙（市実行委員会ホームページからもダウンロード可）に記入し、市実行委員会へ郵送または直接提出（〒 023-1192 ※住所記載不要）
※小中学生は各学校へ提出

いわての 恵みで

“おもてなし” 料理コンテスト

両大会に参加する選手や監督などを食の面から“おもてなし”をし、全国にいわての食の魅力を発信するため、創作料理を募集します。

募集期限 8 月 20 日（当日消印有効）
応募資格 県内に在住または通勤・通学している個人またはグループ（プロ、アマ不問）

作品の条件

- ① 応募者の創作料理
- ② 県産農林水産物（加工品を含む）を 1 種類以上使用
- ③ 材料費は 4 人分で 2 千円以内



- ④ 調理時間は 60 分以内
- ⑤ 刺身、生肉は使用不可

応募方法

本庁国体推進室、各地区センターにある所定の応募用紙（市実行委員会ホームページからもダウンロード可）に記入し、県実行委員会へ郵送、メールまたは直接提出（〒 020-0023 盛岡市内丸 11-1、☎ AA0007@pref.iwate.jp）

▶ 主食の部 ▶ おかず・汁物の部 ▶ おやつ・デザート部の 3 部門



◆募金付きグッズ販売中！詳しくはホームページまたは広報おうしゅうお知らせ版 6 月号をご覧ください◆

“見て楽しい” 国体情報が盛りだくさん！ ■HP アドレス <http://www.city.oshu.iwate.jp/hm/kokutai/>
ホームページやフェイスブックを CHECK！ ※市公式サイトのパナーからもアクセス可能

奥州市 国体

検索